

年度 2008 学期 後期	曜日・校時 木曜日・1校時	必修選択 選択	単位数 2
授業科目/(英語名)	経済と経営(経済学入門) Economics and Business (Introduction to Economics)		
対象年次 1・2年次	講義形態 講義	教室	
対象学生(クラス等) 全学部	科目分類 人文・社会科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: 高木かおる /Eメールアドレス: takaki-k@nagasaki-u.ac.jp /研究室: 経済学部東南アジア研究所 213 /TEL: /オフィスアワー:木曜日講義後～11:00(その他の時間を希望する場合は、問い合わせてください。)			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい: 実際の経済の動きや経済政策がわれわれの生活にどのような影響を及ぼしているかを理解するための学問が経済学です。この授業では、経済学の基礎的な概念や分析手法、考え方を学びます。 授業方法: 経済学の入門書であるテキスト(下記参照)から、とくに基本的な事項を選んで講義します。授業内容に応じて補足的な資料を配布します。理解度を確認するため、テキストの練習問題や類似問題による復習を授業中あるいは授業時間外の自習により行います。(毎回授業終了時に、授業に関する質問などを記入する授業記録紙を提出してもらいます。) 授業到達目標: 経済学の基礎的な概念・用語を説明できる。経済学の初歩的な分析手法(簡単なグラフ)を用いて、市場経済の機能を説明できる。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) 市場経済の基本的な機能について、前半では完全競争市場を仮定した需要・供給分析を、また後半では45度線分析とよばれる分析方法を中心に学びます。できるだけ具体的な事例を用いながら、経済学の初歩的な分析手法を身に付けます。項目によっては、テキストに掲載されているデータや補足的に配布する資料などにより、実際の経済にもふれます。 第1回 希少性と資源配分 第2回 需要と供給(需要と価格、需要曲線のシフト) 第3回 需要と供給(供給と価格、供給曲線のシフト) 第4回 価格の決定とその変化(価格の決定) 第5回 価格の決定とその変化(需要曲線のシフトと財の価格の変化) 第6回 価格の決定とその変化(供給曲線のシフトと財の価格の変化) 第7回 資源配分と所得分配の決定(資源配分の決定) 第8回 資源配分と所得分配の決定(所得分配の決定) 第9回 単純な経済循環、政府の役割 第10回 国内総生産の決定(マクロ経済学の諸概念) 第11回 国内総生産の決定(国内総生産と国内総支出の決定) 第12回 経済の変動と安定化政策(国内総生産の変動) 第13回 経済の変動と安定化政策(マクロ経済の安定化政策) 第14回 経済成長 第15回 総括(試験含む)			
キーワード			
教科書・教材・参考書	岩田規久男『経済学への招待』新世社 授業ではテキストの事例や説明、練習問題を利用しますので、毎回テキストを持参してください。 (初回の授業より前に、テキストのはしがきを読むと、この授業の概略を知る参考になると思います。)		
成績評価の方法・基準等	期末試験 80%、課題(授業の途中に行う復習問題) 20% 期末試験・課題とも、基礎的な概念・用語を正しく理解しているか、簡単なグラフを用いて市場経済の機能や国内総生産の決定などを説明できるか等を問う問題により評価を行います。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)	毎回、授業の前にテキストを読み分らない箇所を見つける、授業の後に練習問題により理解できたかを確認する、など自主的に取り組むよう心掛けてください。		